

# 潟の学校にでかけよう!

～越後平野の自然環境とESD～

「みんなの潟学」を使って知性を磨き、  
潟で体験して感性を磨こう!

地域の自然を体験し、学べる場として、  
市内の潟を一つの学校にみたくて  
地域に根差した学びの場となる可能性を探ります。

持続可能な未来につなぐ人材を育てる  
ESD(Education for Sustainable Development)をテーマに  
新潟市の自然環境をどのように次世代に引き継いでいくのかを展望します。

鳥屋野潟上空から 撮影：王毅

**日時** 2019年10月27日(日) 13:30～16:00(受付12:30～)

**会場** 新潟国際情報大学中央キャンパス9階講堂  
(新潟市中央区上大川前通7-1169)

※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。

**申込** 定員／先着180名 入場無料 **参加者全員に「みんなの潟学」を謹呈**

新潟市役所コールセンター(025-243-4894)へお申込みください。

※申込開始9月25日(水) 受付時間8:00～21:00 年中無休



**第1部** 基調講演 「“潟学”が拓く学びの世界—SDGs<sup>※</sup>と潟—」

朝岡幸彦氏 (東京農工大学農学研究院教授、日本環境教育学会会長)

※SDGs:Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

**第2部** 事例報告  
「鳥屋野潟を誰もが楽しめ、誇れる里潟に!!」

相楽治 (NPO 法人新潟水辺の会・鳥屋野潟がつてんプロジェクトチーム)

地域と学校をつなぎ「未来に残そう! 地域の宝 十二潟」

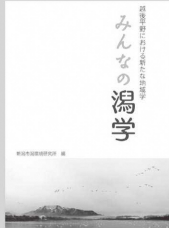
大滝江里子氏 (NPO 法人いろいろこ十二潟を守る会)

**第3部** 座談会 「地域に根差した学びの場として」

朝岡幸彦氏×浅野涼太氏×太田和宏×澤口晋一×志賀隆×松浦和美×吉川夏樹







新潟を象徴する“潟”を読み解く本「みんなの潟学―越後平野における新たな地域学」。  
この本は越後平野の潟と人との共生を見つめ直すために、地形、歴史、文化、民俗、動植物、利水など、  
多様な視点からふるさとの“潟”の姿を明らかにし、わかりやすく解説したものです。

新潟市潟環境研究所編 2018年11月 初版第1刷発行 2019年3月 第2版1刷発行  
この本は非売品です。市内の図書館で貸し出しが可能です。なお、当日参加者全員に1冊謹呈します。

## 【第1部】 基調講演

### 講師プロフィール



**朝岡 幸彦氏** 東京農工大学農学研究院教授（博士（教育学））

新潟県見附市出身（新潟大学卒業）。日本環境教育学会会長、元『月刊社会教育』（国土社）編集長、  
日本湿地学会理事。専門は社会教育、環境教育。

<https://sites.google.com/site/fuchudo/home>（「環境教育」入門）

<近著>朝岡幸彦・笹川孝一・日置光久編著『湿地教育・海洋教育』、筑波書房、2019年9月。  
日本環境教育学会監修 阿部治・野田恵編著『知る・わかる・伝える SDGs 第1巻 SDG1～6』  
（SDG2分担執筆）、学文社、2019年9月。

## 【第2部】 事例報告

### 出演者プロフィール



**相楽 治**

NPO法人新潟水辺の会代表世話人

技術士（建設・農業）。鳥屋野潟がってん（再生・発展）  
プロジェクトを取り組み中。健康寿命あと4年の人生  
を「舟活」すべくカヌーシェアプラットフォームを構  
想中。新潟市里潟研究ネットワーク会議会員。



**大滝 江里子氏**

NPO法人いいるこ十二潟を守る会運営委員

2019年3月まで9年間、新潟市立岡方第一小学  
校の地域教育コーディネーターとして十二潟学習  
の開始から関わり、十二潟を通して地域と学校を  
つなぐ役割を担った。

## 【第3部】 座談会

### 出演者プロフィール



**浅野 涼太氏**

県立鳥屋野潟公園（女池・鐘木）所長

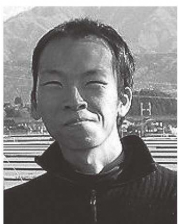
専門は昆虫の生態学。公園の管理を通じて自  
然や生物の魅力・大切さを発信しているほか、  
プライベートでも生物の調査研究を積極的  
に行っている。



**志賀 隆**

新潟大学准教授

博士（理学）。専門は植物分類学・保全生物学。  
水辺の植物の多様性や生き様を調べる一方で、  
日本の豊かな水辺の植生を残すための研究も  
進める。新潟市里潟研究ネットワーク会議会員。



**太田 和宏**

赤塚中学校地域教育コーディネーター

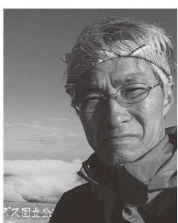
専門は歴史・建築史。地域教育コーディネーター  
や赤塚・佐潟歴史ガイド副会長、内野まち歩き  
ガイドの会会長を務めるなど、地域の歴史・自然・  
暮らしの魅力発信に取り組んでいる。新潟市里  
潟研究ネットワーク会議会員。



**松浦 和美**

（株）U・STYLE代表／新潟市南商工振興会副会長

鳥屋野潟畔でデザインの仕事に携わりながら、潟を中  
心とした地域ブランディングに取り組む。「潟ボーイ's」  
シリーズの企画制作、潟マルシェ、とやの潟ウインターキ  
ッチンなど、地域の素材を掘り起こしデザインを通した魅力  
発信に取り組む。新潟市里潟研究ネットワーク会議会員。



**澤口 晋一**

新潟国際情報大学教授

博士（地理学）。専門は自然地理学、地形学。高緯度  
極地と高山という高い所ばかりをフィールドとしてき  
たが、数年ほど前から越後平野の低地に降りて、特に  
新潟砂丘の地形とその中にもみられる潟や池の成因を  
調べている。新潟市里潟研究ネットワーク会議座長。



**吉川 夏樹**

新潟大学准教授

博士（農学）。専門は農業水利学、農業土木学。  
「田んぼダム」による水害抑制と水質改善、水田を  
介した放射性セシウムの挙動など、農業に関わる  
水の研究を多岐にわたって行う。新潟市里潟研究  
ネットワーク会議会員。

